



株式会社 郵愛

〒151-8502
渋谷区千駄ヶ谷1-20-6
FAX (0120) 779-783

TEL (0120) 025-315 (自動車保険)
(0120) 025-375 (総合保険)
(0120) 025-915 (がん保険)
(0120) 221-220 (医療共済)

定期的にがん検診を受診しましょう

現在、わが国ではがんは死亡原因の第1位ですが、診断と治療の進歩により早期発見、早期治療が可能となりつつあります。

がんの早期発見・早期治療ができれば、それだけ完治の可能性が高くなるだけでなく、治療に要する費用や時間などの負担も軽くなるため、がん検診の定期的な受診が重要です。

1 がん検診とは

年に1度、定期的に職場や学校、医療機関などで「健康診断」を受診していると思います。一般的な健診は対象の病気を定めず、身体に異常がないかどうかを調べます。

それに対し、「がん検診」のように、特定の病気に絞って調べる「検診」もあります。

「がん検診」は、身体にがんがあるかどうかを調べる検査で、がんが見つかった場合には、二次検診などで身体のどこにどんな種類のがんが、どれくらいの大きさであるかなどを調べ、どのような治療方法が最も適しているか方針を立てるのに役立てます。

2 がん検診の流れ

がん検診は、がんを対象にした検査です。

胃や大腸、肺、乳房、子宮など、がんができる部分が異なればがんの特徴も変わるため、がん検診では、それぞれのがんを調べるのに適した検査が用意されています。

がん検診は一次検診、精密検査(二次検診)、がんの確定診断、治療という流れで進んでいきます。

一次検診では「スクリーニング」といって、健康な人と、多少でもがんの可能性が疑われる人を見極めてふるいわけます。

胃がん検診だとX線検査または内視鏡検査、乳がん検診だとマンモグラフィー(X線検査)、エコー……といった組み合わせのように、検診ごとに検査内容は異なります。

もし、精密検査でがんと診断(確定診断)された場合は、必要に応じて治療へ進むことになります。

胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが証明されています。

3 がん検診受診率とがん死亡率

欧米では、がんによる死亡率が減少してきています。

特にアメリカでは、1970年代からの国を挙げての取り組みにより、90年代前半からがんによる死亡率が減少しています。

一方、日本では依然、増加傾向が続いています。日本とアメリカの医療のレベルはそんなに変わらないのに、一体なぜこんな違いがあるのでしょうか。

ひとつには、がん検診の受診率の違いといわれています。近年、日本人のがん検診受診率は上昇傾向にあるものの、アメリカでは乳がんと子宮頸がんの検診受診率は70～80%といわれているのに対し、日本では30～40%にとどまります。

また、日本人で最も多い肺がんの検診受診率も男性で50%、女性では40%ほどです。(2022年、厚生労働省・国民生活基礎調査より)

もちろん検診だけでなく、禁煙への意識を高めたり、食べ物や運動など生活習慣を改善したりすることも重要です。

対象臓器	効果のある検診方法
胃	胃X線検査 胃内視鏡検査
子宮頸部	子宮頸部細胞診
乳房	マンモグラフィー(X線検査)、エコー
肺	胸部X線とハイリスク者に対する喀痰細胞診の併用
大腸	便潜血検査、内視鏡



がんの予防法 今すぐできる方法

がんになるリスクを減らすために

毎年、たくさんの方ががんになっており、日本人の2人に1人が一生のうち一度はがんになるというデータがあります。

がんは日本人にとって身近な病気ですががん予防は、生活習慣病・環境との間に深い関わりがみられているため、生活習慣を改善することで誰でもがん予防に取り組むことができます。

01 細胞が分裂するときの「コピーミス」が「がん細胞」となる

私たちの体は約60兆個の細胞でできており、細胞は絶えず分裂することによって新しく生まれ変わっています。細胞分裂は、細胞の設計図である遺伝子をもとにコピーされることで起こりますが、生活習慣からの危険因子や発がん性物質によって遺伝子が突然変異し、コピーミスが起こることがあります。

このコピーミスが「がん」のはじまりです。

ただし、コピーミスが起きても、すぐにがんになるわけではありません。健康な人でも1日約5,000個のコピーミスが起こっているといわれ、通常はコピーミスで生まれた異常な細胞は、体内の免疫細胞の標的となり、

攻撃されて死滅します。

ところが、免疫細胞の攻撃を逃れて生き残る細胞がいて、それが「がん細胞」となります。

02 6つのがんの予防法

がんの予防にとって重要な、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に「感染」を加えた6つの要因を取りあげ、がん予防法とします。

この5つの健康習慣を実践することでがんリスクはほぼ半減します。できそうなことから取り組み、1つでも多くの健康習慣を身につけていきましょう。

「日本人のためのがん予防法（5+1）」



2024年9月下旬に、
がん保険未契約の組合員のみなさまには
生きるを創るがん保険「WINGS」・JP労組プラン
DMでご案内しております。
この機会にご検討ください。



「生きる」を創るがん保険 WINGS

JP労組プラン

資料請求はこちらから!



JP 労組のスケールメリットで、がんに備えておきましょう

JP労組プランで加入いただくと、以下のメリットがあります。

その
1

団体料率による保険料で加入いただけます!

その
2

組合員が契約者になることで、組合員から2親等以内のご家族の皆さまも団体扱が適用可能です。

その
3

退職しても、団体扱を継続できます!

		手頃な保険料で備えたい方に	安心のおすすめ保障	充実の保障で備えたい方に	保険期間	
		バリューコース	基本コース	充実コース		
治療中の保障	診断	診断給付金	一時金として がん 50万円 上皮内新生物 5万円	一時金として がん 100万円 上皮内新生物 10万円	一時金として がん 100万円 上皮内新生物 10万円	終身
		複数回診断給付金	1回につき がん 20万円 上皮内新生物 2万円	1回につき がん 50万円 上皮内新生物 5万円	1回につき がん 50万円 上皮内新生物 5万円	
	入院	1日につき 5,000円	1日につき 5,000円	1日につき 10,000円		
	通院	1日につき 5,000円	1日につき 5,000円	1日につき 10,000円		
治療		実際に払った自己負担額にかかわらず 所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療・緩和療養を受けたとき 受けた月ごと 10万円 5万円 ホルモン剤治療のみの場合 ※複数の治療を同一月内に受けた場合でもお受け取りいただける給付金額は上記の額となります。 自己負担額と同額(通算2,000万円まで)				
先進医療・患者申出療養	がん先進医療・患者申出療養給付金 (*1)	一時金として 1年に1回 15万円			10年満期 自動更新	

(*) 上皮内新生物は、保障の対象外です。

JP労組プランに付加可能な特約です

がん治療が長引いた場合の保険料負担に備える

特定保険料
払込免除特約

所定のがんの検診後の要精密検査に備える

がん要精検後精密検査保障特約

全額自己負担となる特定保険外診療*や
がんゲノムプロファイリング検査費用に備える

がん特定治療保障特約

がん治療に伴う外見の変化に備える

外見ケア特約

「心疾患」や「脳血管疾患」に備える

重大疾病一時金特約

※がん診療連携拠点病院等において、公的医療保険制度の対象とならない所定の手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン剤治療を受けたときにお支払いします。

- がん保険には保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。重大疾病一時金特約には待ち期間はありません。
- 「先進医療」および「患者申出療養」は、厚生労働大臣が認める医療技術です。これらは医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状など)および実施する医療機関が限定されています。また、医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。
- アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する先進医療の特約は被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。その他特約にも制限があります。
- 〈特定保険料払込免除特約〉の中途付加のお取扱いはありません。

付帯サービス〈アフラックのよりそうがん相談サポート〉

よりそうがん相談サポーターは、がん患者様のご相談サポートの経験がある看護師・社会福祉士等のメンバーで構成された専任のサポートチームです。お一人おひとりに合わせて信頼できる情報や安心して利用いただけるサービスをご案内し、お困りごとや疑問の緩和・解消をサポートします。

(*)アフラックのよりそうがん相談サポートは、Hatch Healthcare 株式会社が提供するサービスであり、アフラックの提供する保険またはサービスではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ <https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html> をご確認ください。

商品・サービスの詳細は「契約概要」等をご覧ください。

お問い合わせは

■募集代理店

JP労組保険代理店 (株)郵 愛

〒151-8502 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

営業時間:9時~17時 休業日:土曜・日曜・祝日

電話:0120-025-915(通話無料)

■引受保険会社 アフラック

東京第二法人営業部

〒163-0456

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル20階北

電話:03-6385-9829

AF006-2024-0607 9月2日(260902)

2024年1月1日保険始期契約より告知の質問事項が緩和されました!!

ただ今募集中!!

申込締切日2024年11月29日(金)

10月上旬から順次、本保険に加入されていない正社員組合員の皆さんあてにDMを送付しております。加入を希望される方は、同封の「加入希望・資料請求シート」を返信用封筒で送付ください。

休職時収入サポート-GLTD-(団体長期障害所得補償保険)

保険期間：2025年1月1日～2026年1月1日まで1年間

団体割引※

30%

適用!!

長期間働けなくなった時、どうする？

医療費



住宅ローン



育児・介護費用



生活費 など



※前年度に加入いただいた被保険者の人数等によって割増率が適用されます。

いざという時のあなたの経済的な負担を軽減します!!!

加入プラン例<Bタイプ>

保険金額(支払基礎所得額) 10万円の月払保険料

年 令	男性(3Bセット)	女性(4Bセット)
30～34才	851円	879円
40～44才	1,544円	1,863円

・免責期間：180日

・補償期間：65才に達する誕生日前日の属する事業年度末日まで(ただし、免責期間の終了日の翌日から起算しててん補期間終了日までの期間が3年に満たない場合は3年間)。
精神障害補償特約による保険金の支払いは、てん補期間にかかわらず24か月とします。

2024年度より、健康状況告知書質問事項の内容が緩和され、直近の健康状況や過去の治療歴の告知対象期間が短縮されました。また、妊娠に関する質問事項が廃止されました。この機会にぜひご検討ください! ※詳細は資料請求時にお送りします「健康状況告知質問事項」をご参照ください。

2022年から免責期間が270日から180日に短縮されました。



既加入者は原則 自動継続だけど、60才までのプランに加入の方は65才までの補償に延長することも可能だにゃー(手続き別途必要)

○この保険に加入いただけるのは、日本郵政グループの正社員で日本郵政グループ労働組合が加入を認める方かつ保険期間の開始時点で満15才以上満64才以下かつ健康状況告知の結果、加入できると判定された方に限ります。

○このご案内は、保険の概要を説明したものです。詳細は、郵愛ホームページまたは、商品パンフレットをご覧ください。

郵愛ホームページに各種資料を掲載しています。

HP : <http://www.jprouso.or.jp/welfare/yuuai/>



お問い合わせ

郵愛 GLTD サポートデスク

電話 0120-938-752 (平日 10:00～16:00)

【代理店・扱者】株式会社郵愛(幹事)

〒151-8502 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

(事務代行・非幹事代理店)

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

【引受保険会社】三井住友海上火災保険株式会社